

平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

大阪市立夕陽丘	中学校	生徒数	145
---------	-----	-----	-----

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	32.25	27.41	43.80	53.75		79.67	8.19	185.56	20.77	42.82
大阪市	29.00	27.45	41.55	51.39	409.58	84.05	8.10	189.74	20.39	41.00
全国	28.89	27.45	43.20	51.89	391.23	85.99	7.99	194.54	20.56	42.11
女子	25.32	24.77	49.29	48.64		67.64	8.84	162.13	12.29	51.88
大阪市	24.11	23.81	44.70	46.89	303.77	57.92	8.95	165.67	13.06	49.27
全国	23.82	23.73	45.86	46.76	287.36	59.14	8.80	168.57	12.96	49.97

結果の概要

男女ともに、体力合計点で全国平均および大阪市平均を上回っている。男子は8種目中4種目が全国平均値を上回り、4種目が下回っている。女子は8種目中5種目が全国平均を上回り、3種目が下回っている。

昨年度は、男女ともに体力合計点が全国平均を下回っていたが、今年度の結果から例年に比べて基礎体力が高いと思われる。特に女子は活発な生徒が多く、部活動への積極的な参加も原因のひとつと考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

毎回の授業の初めには、必ず補強運動を取り入れ、生徒の基礎体力の向上に努めてきた。バレーボールやバスケットボールなどの球技の授業では、ボールを使ってウォーミングアップを行ったり、ミニゲームを取り入れたりとすることで、巧緻性を高めるように工夫を行った。

また、昨年度の体力テストにおいて、ハンドボール投げの記録が男子は全国平均より1.75m低い18.84m、女子は1.28m低い11.57mであったことを受け、補強運動の中に肩のトレーニングを取り入れた。

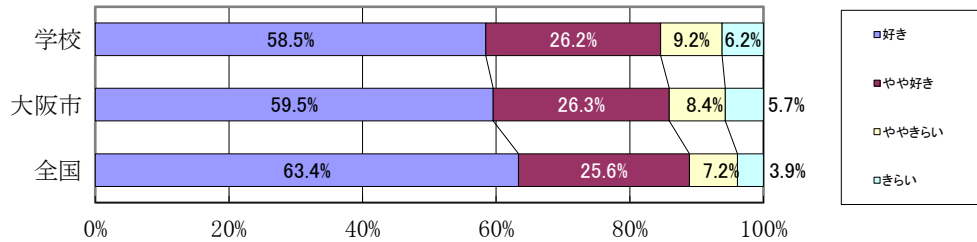
今後取り組むべき課題としては、引き続き体力向上のためのトレーニングやゲームの行い方を考えるとともに、今年度記録が伸びたハンドボール投げの数値を維持するためのトレーニングも行っていきたい。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

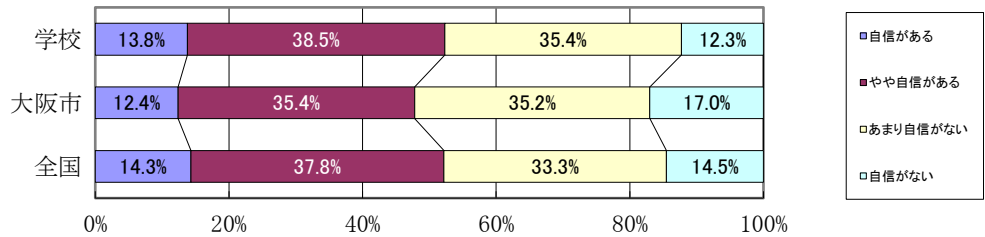
1

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



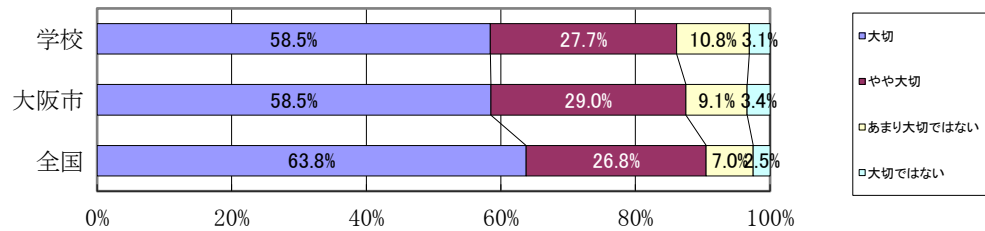
2

自分の体力・運動能力に自信がありますか。



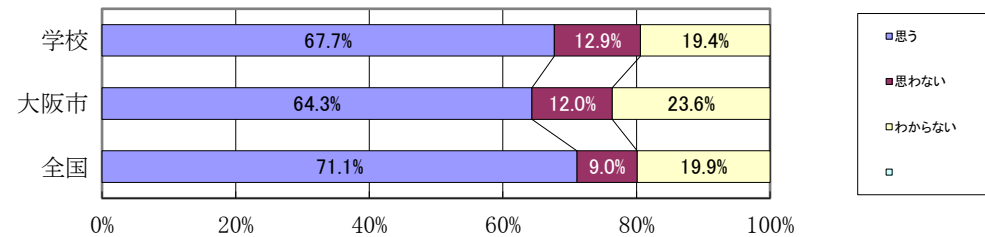
3

あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切なものですか。



4

中学校を卒業した後、自主的に運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



成果と課題

運動やスポーツをすることが好きですかという質問に対して肯定的な回答をした生徒は、全国平均に対して4.3pt低かった。しかし、体力・運動能力に対して自信がありますかという質問に対して肯定的な回答をした生徒は、全国平均に比べて0.2pt高かった。授業の中で小さな成功体験を積み重ねることで、運動があまり好きではない生徒にも「努力すればできる」という自信をもたせることができた。

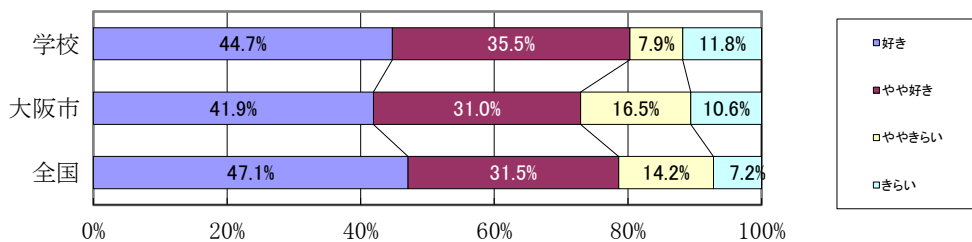
今後の取組

運動やスポーツをすることが好きだと感じる生徒を増やすために、仲間とともに体を動かすことの楽しさを感じることができるような授業づくりを行っていく。また、生徒一人一人に応じた課題設定を行い、その課題を達成するという体験を積み重ねることで、体を動かすことへの苦手意識を軽減していきたい。

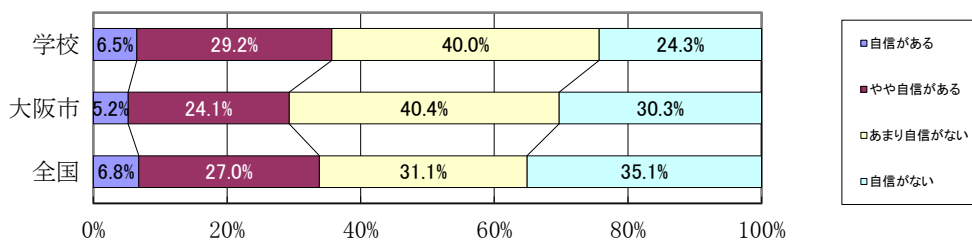
運動やスポーツについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------

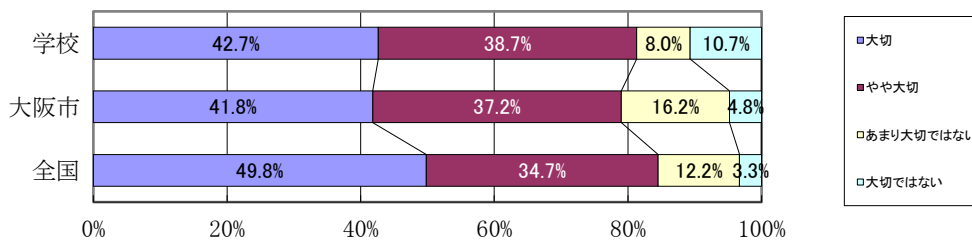
1
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



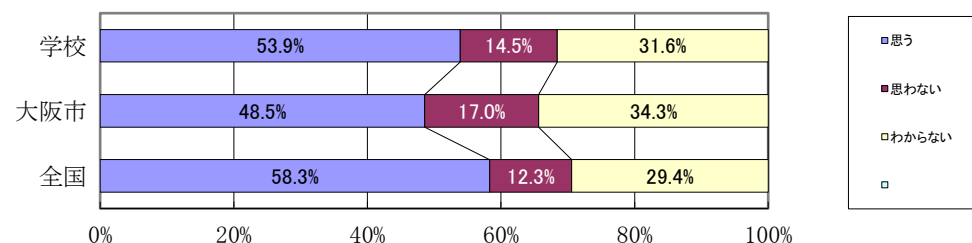
2
自分の体力・運動能力に自信がありますか。



3
あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切なものですか。



4
中学校を卒業した後、自主的に運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



成果と課題

運動やスポーツをすることが好きですかという質問に対して肯定的な回答をした生徒は、全国平均に対して1.6pt高かった。また、体力・運動能力に対して自信がありますかという質問に対して肯定的な回答をした生徒も、全国平均に比べて1.9pt高かった。授業の中で、仲間と協力して取り組むことに重点を置き、運動が苦手な仲間に対しても一生懸命応援しあうことで、運動に対する苦手意識を軽減させることができた。

今後の取組

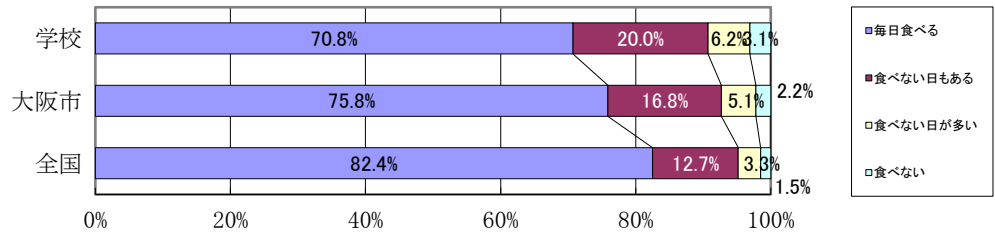
仲間とともに体を動かすことの喜びを感じることができる授業づくりを今後も心掛けていき、運動が苦手な生徒でも仲間同士で協力しあうことによって運動の楽しさを感じることができるよう努めていきたい。また、運動が苦手な生徒に対して、個の能力に応じたルール作りなどの工夫も行っていきたい。

ふだんの生活について (男子)

質問番号	質問事項
------	------

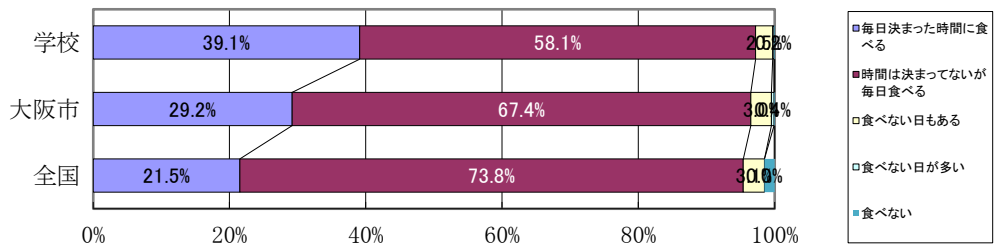
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



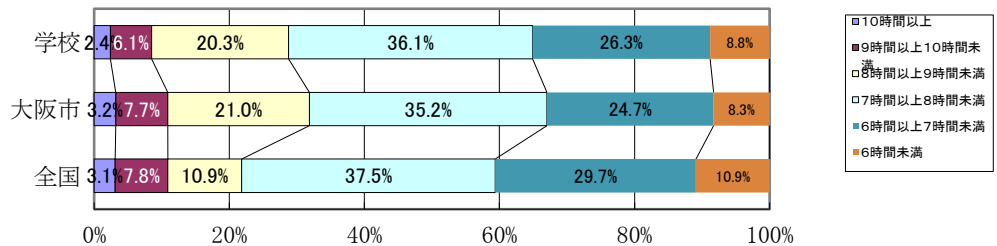
8

夕食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含める)



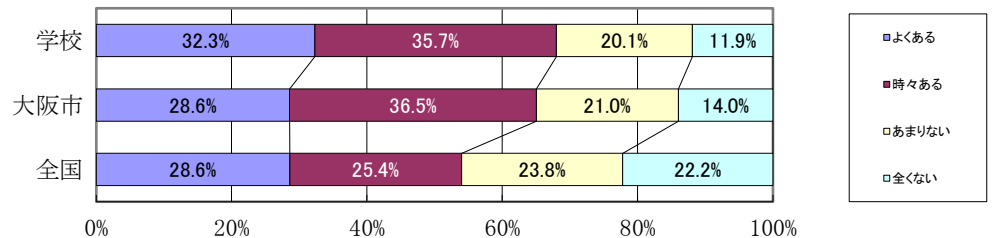
9

毎日どのくらい寝ていますか。



12

放課後や学校が休みの日に、運動部活動や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることができますか。



成果と課題

朝食は毎日食べますかという質問に対して肯定的な回答をした生徒は、全国平均に対して4.3pt低かった。しかし、夕食は毎日食べますかという質問に対して肯定的な回答をした生徒は、全国平均に対して1.9pt高かった。また、毎日の睡眠時間についても、全国平均よりも高かった。夕食や睡眠は必要と考えているが、一日の活動の基盤となる朝食に対しての意識が低いということが分かった。

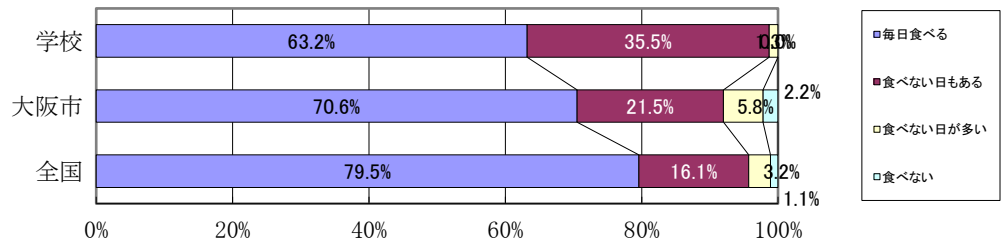
今後の取組

朝食を食べることの重要性と、朝食を食べないことによっておこる身体への悪影響について保健の授業だけではなく、日々の体育の授業の中でも具体的に伝えていきたい。また、保健体育科だけではなく、養護教諭や保健委員などとも連携をとり、改善に向けて取り組んでいきたい。

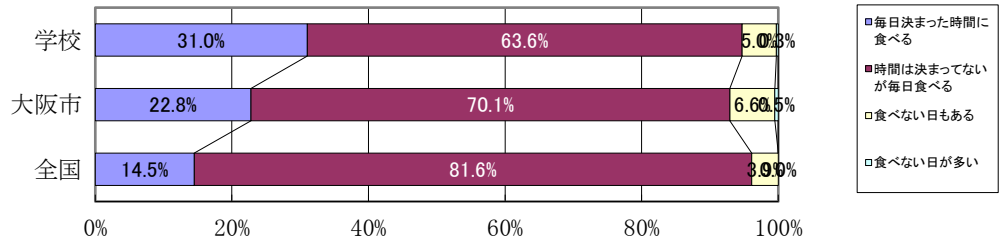
ふだんの生活について（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

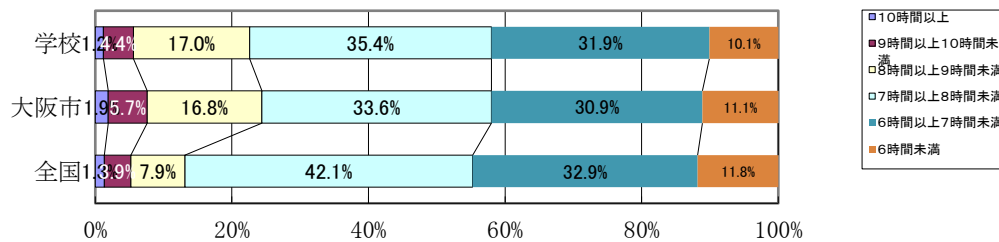
7
朝食は毎日食べますか
(学校が休みの日も含める)



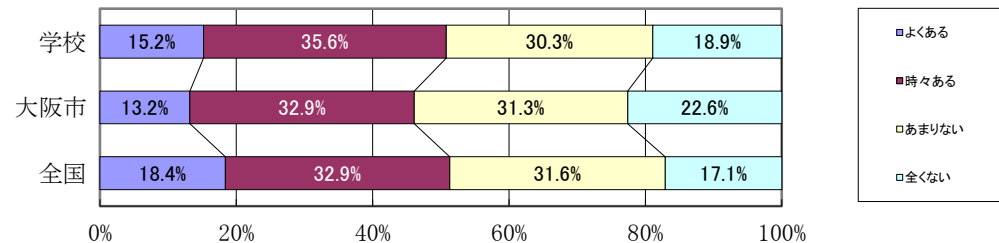
8
夕食は毎日食べますか。(学
校が休みの日も含める)



9
毎日どのくらい寝ていますか。



12
放課後や学校が休みの日に、
運動部活動や地域のスポーツ
クラブ以外で、運動(体を動か
す遊びを含む)やスポーツをす
ることがありますか。



成果と課題

朝食は毎日食べますかという質問に対して肯定的な回答をした生徒は、全国平均に対して3.1pt高かった。しかし、夕食は毎日食べますかという質問に対して肯定的な回答をした生徒が、全国平均に対して1.5pt低かった。また、毎日の睡眠時間についても、全国平均よりも高かった。女子は、男子に比べて朝食において全国平均を上回っており、正しい生活習慣が身につけていることがわかった。

今後の取組

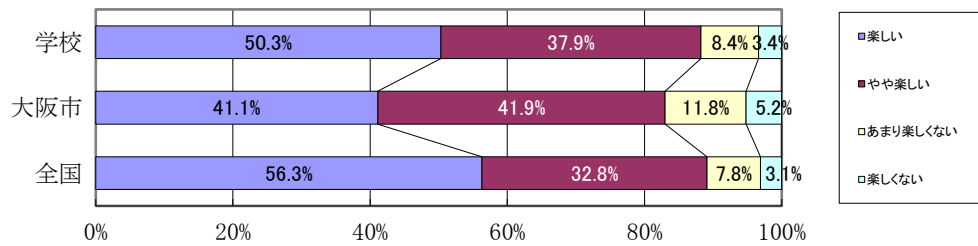
朝食を食べない日が多いと答えた生徒が1.3%、夕食を食べない日が多いまたは食べないと答えた生徒が0.4%であったため、食事の重要性について保健の授業を中心として生徒に再度伝えていき、すべての生徒が正しい生活習慣を身につけることができるように努めていきたい。

保健体育の授業について（男子）

質問番号 質問事項

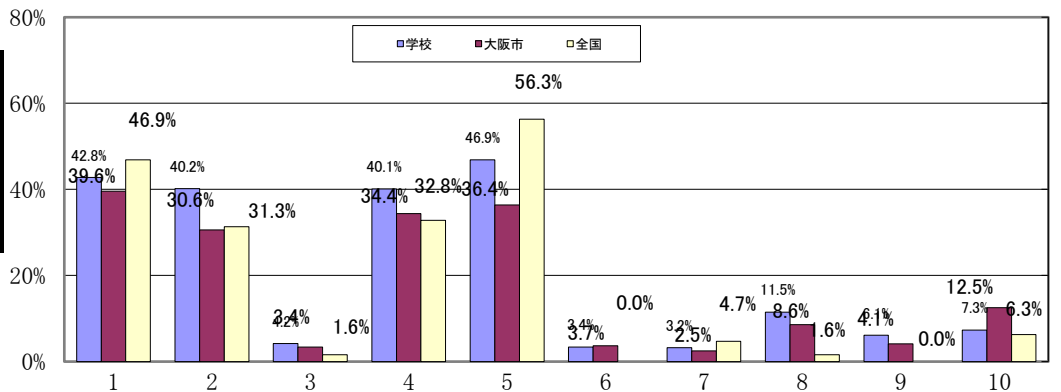
18

保健体育の授業は楽しいですか



23

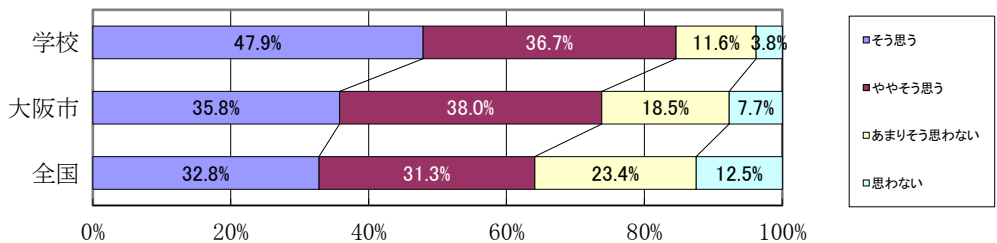
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

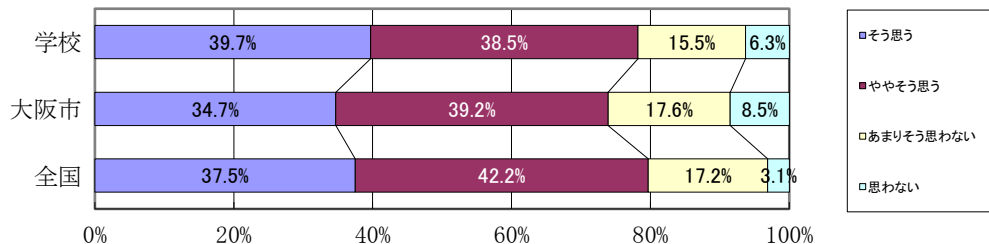
21

ふだんの保健体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。



27

今、保健体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



成果と課題

保健体育の授業は楽しいですかという質問に対して肯定的な回答をした生徒は、全国平均に対して0.9pt低かった。ふだんの保健体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますかという質問に対して肯定的な回答をした生徒は、全国平均に対して20.5pt高かった。また、「できなかったことができるようになったきっかけ」についての質問では、友達に教えてもらったという回答が一番多かった。授業の中で、グループワークなどを積極的に取り入れていたことが、この結果につながったと考えられる。

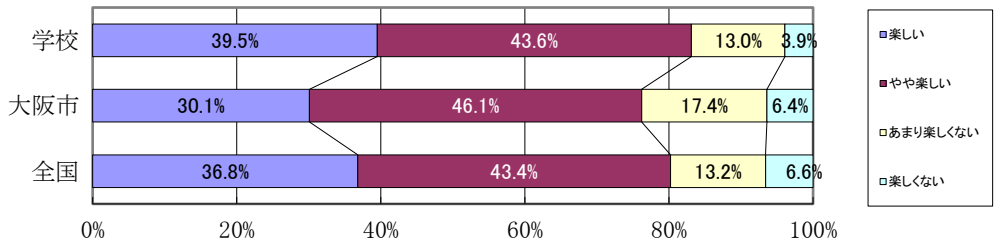
今後の取組

今後もグループワークやICT機器を有効に活用していくことによって、できなかったことができるようになったという成功体験を積み重ねることができる授業を行っていきたい。また、できるという自信をつけることで、保健体育の授業が楽しいと感じてもらおうということにもつながっていきたい。

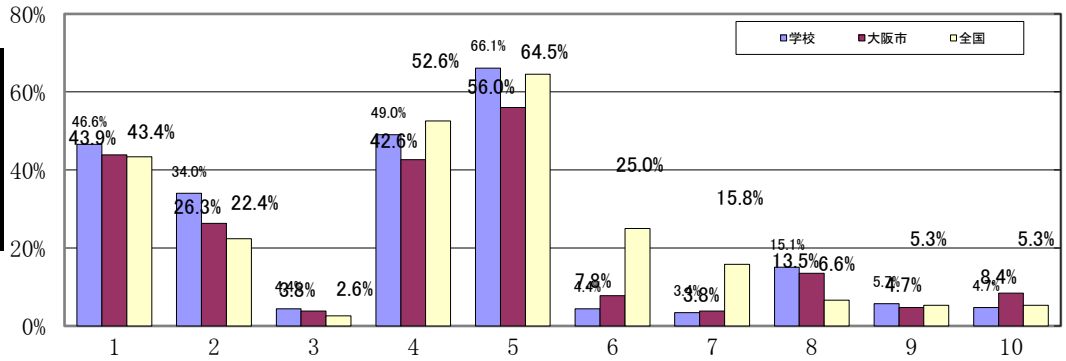
保健体育の授業について (女子)

質問番号 質問事項

18
保健体育の授業は楽しいですか

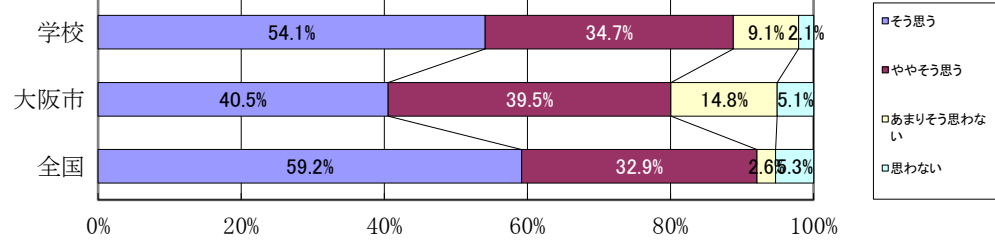


23
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか

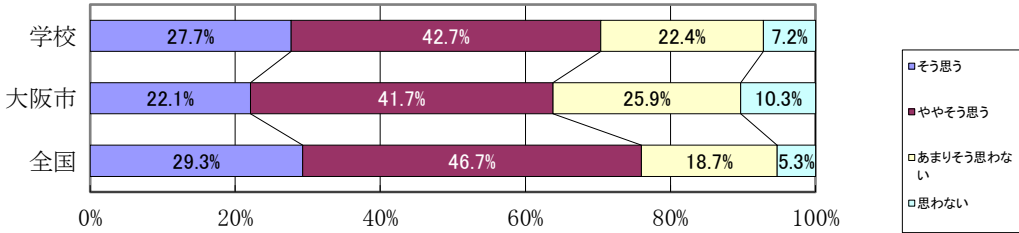


- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

21
ふだんの保健体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。



27
今、保健体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



成果と課題
保健体育の授業は楽しいですかという質問に対して肯定的な回答をした生徒は、全国平均に対して2.9pt高かった。また、「できなかったことができるようになったきっかけ」についての質問では、授業中に自分の動きをビデオで見たという回答が全国平均に対して20.6pt高かった。集団行動やマット運動、ダンスなどの授業でICT機器をたくさん活用し、生徒が自分の動きを客観的に見ることによって、運動課題の改善につながったと考えられる。

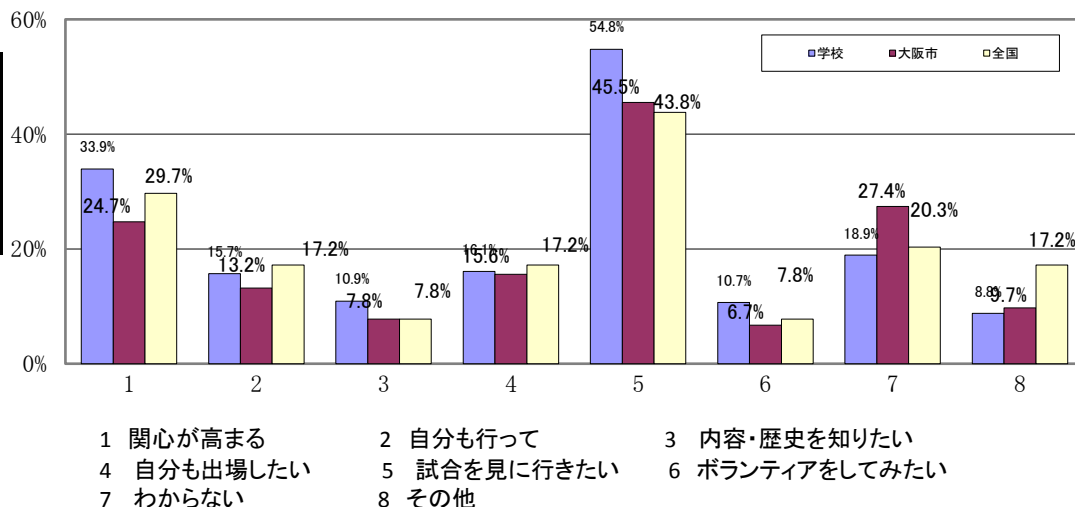
今後の取組
保健体育の授業が楽しいと感じる生徒を今後も引き続き増やしていくことができるよう、運動の楽しさを伝えていきたい。また、そのためにグループワークやICT機器を活用し、「できる」という自信を持てることにつなげていきたい。

その他（男子）

質問番号 質問事項

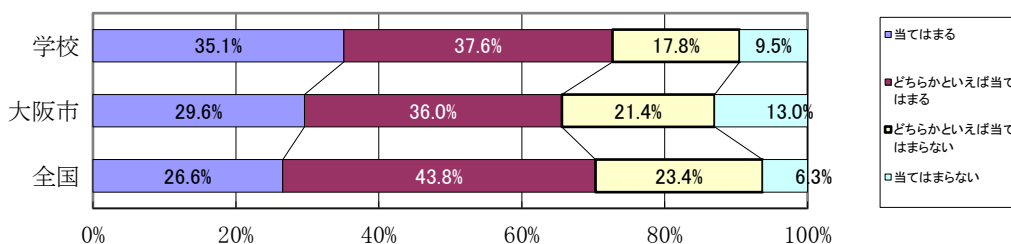
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



32

自分には、よいところがあると思う。



成果と課題

オリンピック・パラリンピックへの気持ちの質問では、自分の競技を行ってみたいという質問と、自分もオリンピックに出場してみたいという質問が全国平均よりも下回っていた。また、自分にはよいところがあると思う。という質問に対して肯定的な回答をした生徒は、全国平均に比べて2.3pt高かった。スポーツを自らが行うよりも、応援したり観戦したりすることの方が関心が高いことが分かった。

今後の取組

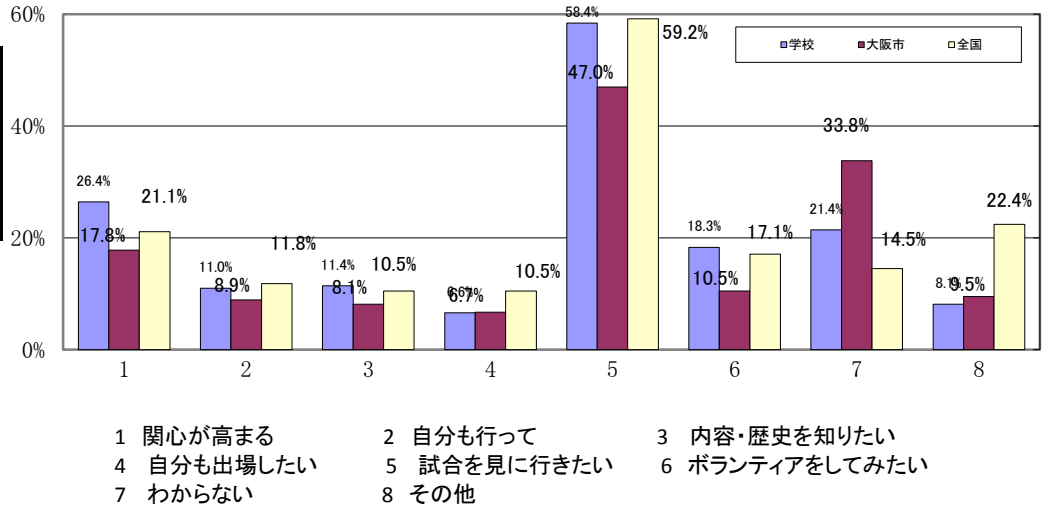
授業の中で、歴代のオリンピック記録や話題の選手などの話を取り入れたり、2020年に行われる東京オリンピックについての情報を生徒に伝えたりすることで、オリンピック・パラリンピックはもちろん、スポーツ全般への興味関心を持たせるように働きかけていきたい。

その他（女子）

質問番号 質問事項

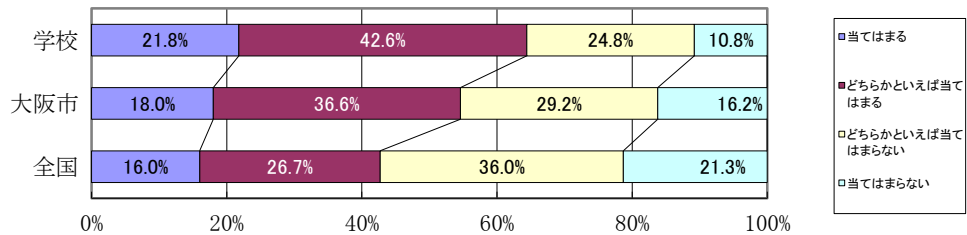
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



32

自分には、よいところがあると思う。



成果と課題

オリンピックやパラリンピックに対する興味や関心は高いが、自分も出場したいと思う生徒の割合が低かった。また自分には良いところがあると思うと答えている生徒の割合が全国、大阪市と比べてもかなり高かった。集団の雰囲気が明るく前向きなため、様々な取組みを通してお互いを認め合うことが出来るようになったと考えられる。その結果、自己肯定感が上がったのではないと思う。ただし実際にオリンピック・パラリンピックに参加したいと思う生徒の割合が低いので、もっと自分の力に自信を持って、大きな目標に向かう力や考えを持ってほしい。

今後の取組

実際にオリンピック・パラリンピックに参加したいと思う生徒の割合が低いので、もっと自分の力に自信を持って、大きな目標に向かう力や考えを持ってほしい。そのために、授業の中で、生徒ができるようになったことに対して、すばやく反応していくことで生徒の自信につなげていきたい。